

令和2年9月15日

futbol y vida



Poco a poco ...
boco y boco ...

待ちに待った選手権予選がスタート!!
次戦に向けて二週間準備をする!!

選手権予選初戦 VS 帝京八王子は、2-1 薄氷の勝利!!

“鬼門”である初戦の課題を活かし、次戦に向けて準備万端で臨む!!



<20 選手権は“新ユニフォーム”で闘う>

9月6日(日)、二日前に発生した台風10号の影響で大会実施が心配されましたが、片倉高校グラウンドの水捌けの良さは東京都代表レベル?で全く問題はありませんでした。待ちに待った選手権予選初戦 VS 帝京八王子が予定通り行われました。新型コロナウイルスにより、今年度予定されていたインターハイ予選、ユースリーグ戦は中止または延期となり、子どもたちにとっては、昨年の11月に行われた新人戦(関東大会予選)以来、およそ10か月ぶりの公式戦となります。そして、高校三年生にとっては選手権予選が高校生活最後の公式戦でもあります。片倉高校サッカー部13名の三年生も、特別の想いで選手権予選の初戦に臨んだことと思います。

思い起こせば、休校明けの六月下旬からチーム全体練習がスタートしましたが、「高校サッカー本気(マジ)でやってるの?」と疑問に思うほど、再開直後は子どもたちの取り組み姿勢やモチベーションなど個々の温度差は大きく広がっていて、チームの纏まりがないように感じました。四ヶ月にも及ぶ部活動停止期間の影響は、思いの外チームに重く押し掛かっていました。しかし、期末考査後の8月上旬に選手権の組み合わせが決まり、目標が明確になったことで、次第に子どもたちの心に“サッカースイッチ”が入っていきました。また、この夏、多くのTRMを通して強豪校に揉まれ、本物に触れた経験も子どもたちの意識の変化に大きく関わっていると思います。「部員全てがそんなのか?」と問われたら「そうだ!!」と答える自信はありません。何事も達成するためには時間は掛かるものであり、ひとは直ぐには変えられるものではありません。しかし、大会に向けての子どもたちの熱量は、彼らと出会った6月と比較したら大幅にアップしたとスタッフ一同実感しています。その真価が問われる選手権予選がいよいよ始まりました。

いつの時代もユース(育成)年代の勝負の鍵は、“メンタリティ”の強さにあり!!

キックオフ直後から、相手陣地に攻め込む時間帯が続きます。久しぶりの公式戦といこともありやや緊張しているものも見受けられましたが、時間の経過とともに解れるだろうとゲームを静観していました。公式戦は、“先制点”で流れが変わります。早く本来のリズムを掴みたいのですが、押し込まれた相手は自然とゴール前に人数が多く集まり、ゴール前にパスを通せずにシュートまで至りません。時折、カウンターから相手FW⑩にヒヤリとさせられる場面も。前半の飲水タイムを超えてもスコアレスでしたが、前半20分に右サイドの突破からセンタリング、ゴール前の混戦を最後はヘディングで押し込んで待望の先制点を奪いました。しかし、その直後GKへのバックパスが相手ヘスルーパスとなってしまう、あっという間に同点に。前半は、こちらに流れを引き込むことができずに終わります。

後半も早々に相手⑩に肝を冷やされる場面を作られましたが、ここはGKが注文通りストップしました。こちらメンバー交代をしながらチャンスを伺いますが、一度狂った歯車はなかなか上手く噛み合いません。「最終的には個人の力でゴールを決じ開けるしかないのかな?」とっていました。結局、後半20分にキャプテンがドリブルで相手守備網を切り裂きシュートを決めこれが決勝点となり、鬼門の初戦を無事に突破し20日の二回戦へコマを進めることができました。



<キャプテンの決勝ゴールに歓喜の輪ができる>

個々のポテンシャルの高さやこの夏のTR&TRM量を比較しても、客観的に見ればこちらの方が上なのですが、初戦で悪戦苦闘した原因は、それを掌るメンタル面にどうやら課題はあるようです。サッカーはトレーニングを重ねていけば自然と上手くなりますが、メンタル面の強化は一朝一夕には結果は出ません。今は、次戦に向けてチームの現状をキープしつつ、本番のゲームに於いては、苦しい時にチームを鼓舞し、けん引できる“真のリーダー”の登場を期待したいものです。果たして、チームのために誰がその役を買ってくれるのか?もちろん、チーム全員にそういう気持ちを持ってグラウンドで闘って欲しいと願っています。



<最上級生がリーダーになり、チームを引っ張る!!>

<After the Game>

2020年度選手権予選が、無事にスタートしました。10か月ぶりの公式戦ということもあってなのか、初戦は過度の緊張のあまりかなり苦戦しましたが最後は個々で地力に勝る片倉高校が勝利を収め、二回戦進出を決めました。

次戦は、八王子東高校とアウェーでの対戦となります。東高は、1,2年生主体のチームですが、先日の苦しいPK合戦を逆転の末勝ち上がってきた粘り強いチームです。しかし、今回の教訓を活かして臨めば、必ず勝利を掴めるはずです。このお守りの願いを成就させるためにも!!

我々、スタッフ陣は、そう信じています!!



<The 女子力!!>